

全専各連

ホームページから広報（PDF版）がダウンロードできます

No.198 2023年7月18日

発行：全国専修学校各種学校総連合会

発行人：福田 益和

〒102-0073

東京都千代田区九段北4-2-25 私学会館別館11階

Tel:03(3230)4814 Fax:03(3230)2688



全専各連 第72回定例総会・第137回理事会開催

6月21日、東京都・アルカディア市ヶ谷を会場として、全専各連第72回定例総会・第137回理事会が開催された。出席者は委任状を含めて138名。はじめに多忠貴副会長が開会を宣言、続いて福田益和会長から一般社団法人岩手県専修学校各種学校連合会龍澤正美会長のご逝去を悼むとともに、専修学校各種学校関連についてあいさつを述べた。続いて文部科学省中安史明専修学校教育振興室長からあいさつを兼ねて「令和5年度専修学校関係予算」、「政府文書（経済財政運営と改革の基本方針2023）等について」、「高等教育の修学支援新制度の見直しについて」、「専修学校の質の保証・向上に関する調査研究協力者会議」、「外国人留学生のキャリア形成促進について」、「私立学校法の一部を改正する法律」、「#知る専等広報活動について」等配布資料に沿った行政報告が行われた。文科省退席の後、議長団には常任理事会の推薦候補者である重里徳太理事を議長、前鼻英蔵理事を副議長に選出。議長が会議の有効な成立を確認し、議事録署名人に杉原長次常任理事と清水尚道常任理事を選任して提出議案の審議に入った。

【第1号議案 令和4年度事業報告（審議事項）】

事務局から会議開催状況、委員会活動等について報告。

【第2号議案 令和4年度決算報告ならびに監査報告（審議事項）】

八文字典昭副会長・財務委員長が配布資料に基づき、収支計算書の各科目の詳細、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録等について説明。続いて戸早秀暢監事が全て適正との監査報告を行った。

第1号議案、第2号議案は一括で審議され、特に異議はなく、出席者全員これを拍手承認した。

【第3号議案 令和5年度事業計画案（審議事項）】

関口正雄常任理事・総務委員長が運動方針、重点目標に

ついて、事務局から会議開催日程、各委員会活動方針、広報活動の推進等について説明。来賓の山谷えり子参議院議員



福田益和全専各連・全専協会長

ならびに赤池誠章参議院議員の来場により審議を一時中断。山谷議員ならびに赤池議員があいさつを述べ、公務により退席後、議事を再開した。

【第4号議案 令和5年度収支予算案（審議事項）】

八文字副会長・財務委員長が配布資料に基づき、各科目の詳細について説明を行った。

【第5号議案 令和5年度第1次補正予算案（審議事項）】

八文字副会長・財務委員長が配布資料に基づき、令和4年度の決算額確定を受けた補正後の予算額について説明。

第3号議案、第4号議案、第5号議案は一括で審議され、特に異議はなく、出席者全員これを拍手承認した。

次に報告事項として吉田松雄副会長から、北海道における「能力開発施設との競合回避」の好事例について説明。

以上により議長が全ての議事の終了を確認、河原成紀副会長が閉式の言葉を述べ、盛会のうちに全日程を終了した。

全専協 令和5年度定例総会・理事会

6月22日、東京都・アルカディア市ヶ谷を会場として、全国専門学校協会令和5年度定例総会・理事会を開催した。出席者は総会が175名、理事会が59名（いずれも委任状を含む）。市原康雄副会長による開式に続き、福田益和

会長があいさつと前日の全専各連総会等について報告した。

来賓あいさつとして、中安史明文部科学省専修学校教育振興室長が「令和5年度専修学校関係予算」、「政府文書（経済財政運営と改革の基本方針2023）等について」、「高等教育の修学支援新制度の見直しについて」、「専修学校の質の保証・向上に関する調査研究協力者会議」、「外国人留学生のキャリア形成促進について」、「私立学校法の一部を改正する法律」、「#知る専等広報活動について」等の説明を中心に行政報告を行った後、公務により退席。議長団には常任理事会の推薦候補である前鼻英蔵理事を議長、鳥居高之理事を副議長に選出。議長が会議の有効な成立を確認した後、議事録署名人に古澤宰治常任理事と大村陽之介常任理事を選出して議事に入った。

【第1号議案 令和4年度事業報告】

【第2号議案 令和4年度決算報告ならびに監査報告】

第1号議案、第2号議案について一括審議を行った。第1号議案は事務局より配布資料に基づき報告。第2号議案は八文字典昭副会長・財務委員長が令和4年度収支におけ

る各科目の内容を報告し、戸早秀暢監事が全て適正との監査報告を行った。両議案に関して出席者全員異議なくこれを拍手承認した。

【第3号議案 令和5年度事業計画案】

【第4号議案 令和5年度収支予算案】

第3号議案、第4号議案について一括審議を行った。第3号議案は配布資料に基づき、関口正雄常任理事・総務運営委員長が運動方針を説明した後、事務局が会議の開催、委員会活動方針、調査研究事業、研修事業の実施、広報活動の推進、専門学校におけるスポーツ振興について説明。続いて第4号議案については、八文字副会長・財務委員長が予算編成方針及び各科目の内容を説明した。両議案に関しては「地域連携プラットフォーム」の推進に関する質問以外に特に質疑はなく、出席者全員異議なくこれを拍手承認した。

以上により、議長が全ての議事の終了を確認後、報告事項として事務局から北海道における「能力開発施設との競合回避」の好事例について説明を行い、最後に大平康喜副会長が閉式の言葉を述べて総会の全日程を終了した。

専修学校の質保証・向上に関する調査研究協力者会議 専修学校関係概要

3月30日、文部科学省「専修学校の質保証・向上に関する調査研究協力者会議」が開催された。①「資格枠組み」における位置づけに係る現状把握と意見交換では、高等教育の学位資格などが相互互換や相互承認できる東京規約（加盟12か国）と世界規約（加盟21か国／今年3月5日に発効）の締結等について。さらには海外における専門士、高度専門士資格評価に関する現状把握と、国内の修業年限2年、4年の専門課程であっても、依然として各々専門士、高度専門士の称号を付与しない学校が存在する等について意見が出された。②留学生の卒業後の進路と教育の質保証に関し、教育未来創造会議のワーキンググループの論点整理で在留資格の運用の見直しと周知促進がなされたことを受け、文科省は外国人留学生のキャリア形成促進に向け、認定要件等について検討を行い、令和6年3月卒業生より新制度を適用した場合（法令審査や認定事務の状況による）のスケジュール案を提示した。③「今後の専門学

校における職業実践専門課程制度の充実に向けて（とりまとめ）」の対応状況では、本提言をもとに専門士との制度的連携として専修学校の専門課程における職業実践専門課程の認定に関する規程の一部を改正したことが報告された。さらに職業実践専門課程のフォローアップの見直しについては、○要件確認の運用の厳格化、○職業実践専門課程の質向上の観点からの定量的な記載事項の追加、○学校関係者評価委員会による認定要件の確認、○文部科学省への書類提出のオンライン化等見直し案に関し報告された。④専修学校設置基準の改正については2月28日付けで文科省から専修学校設置基準の一部を改正する省令の施行について（通知）が発出されたことが報告された。

※専修学校の質の保証・向上に関する調査研究協力者会議（第28回）

https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shougai/027/shiryo/1402412_00011.htm

次期教育基本計画閣議決定 専修学校に言及

6 月 16 日、新たな教育振興基本計画が閣議決定された。特に専修学校関係では、「今後 5 年間の教育政策の目標と基本施策」の中で、○グローバル社会における人材育成▼外国人留学生の受入れの推進で専門学校等の活用。○多様な教育ニーズへの対応と社会的包摂▼高等専修学校における教育の推進と不登校生徒への支援の推進、について言及されている。

「外国人留学生キャリア形成促進プログラム」の創設

4 月 27 日、教育未来創造会議は「未来を創造する若者の留学促進イニシアティブ（第 2 次提言）」を公表し、文部科学省はその提言を受けて、6 月 21 日に「専修学校の専門課程における外国人留学生キャリア形成促進プログラムの認定に関する規程」を公布・施行した。

これは専門学校の学科で質の高い教育を行うとともに、外国人留学生のキャリア形成促進を目的とした日本社会の理解の促進に資する教育を行うものを文部科学大臣が認定して奨励、外国人留学生のキャリア形成の機会の拡大を図ることを目的とする認定制度が創設された。

認定の要件として、職業実践専門課程として文部科学大臣が認定した課程であること、経営基盤に関して継続的かつ安定的な財務状況であること、外国人留学生が占める割合について、等を満たす必要がある。本認定制度は他の認定制度と異なり都道府県等による推薦の手続きは行わず、直接文部科学省に申請を行うこととなっている。

※詳細はプラスWEBをご参照ください。

高等教育の修学支援新制度**授業料等減免事務処理要領（概要）**

文部科学省高等教育局学生支援課高等教育修学支援室では、高等教育の修学支援新制度における支援対象者の要件（個人要件）の学業成績の基準にかかる一部改正により、本年 3 月に授業料減免事務処理要領を更新した。これまで本要領では適格認定（学業成績）において警告となる基準を 2 回連続した場合「廃止（支援打ち切り）」となり、再度の支援は認められなかった。しかし令和 5 年度以降は「警

告」の連続により「廃止」となった者のうち、2 度目の「警告」が「GPA 等が学部等における下位 4 分の 1 に属すること」のみの場合は、翌期の学業成績等が「継続」相当であれば、再度支援を可能とする再支援策が追加（要領 P13）された。

※詳細は文部科学省HPをご参照ください。

各都道府県・学校法人等事務担当者向け資料

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/hutankeigen/1418395.htm

授業料減免事務処理要領（第 4 版）

https://www.mext.go.jp/content/20230426-mxt_gakush_000004157_01.pdf

私立学校法の一部改正について

私立学校を設置する学校法人のガバナンス改革を推進するための制度改正として、文部科学省が第 211 回通常国会に提出していた「私立学校法の一部を改正する法律」が 4 月 26 日、参議院本会議で可決・成立した。近年、私立大学をめぐる不祥事が相次いだことを受け、かねてより有識者会議等で法改正が検討されていたもの。改正私立学校法では学校法人の意思決定機関にあたる「理事会」と、諮問機関に位置づけられる「評議員会」の権限や役割を見直し、評議員会に理事の解任請求権を与えてチェック機能を高めることや、理事と評議員の兼任禁止などが盛り込まれている。さらに理事らの背任行為にも新たな罰則が設けられている。同法は令和 7 年 4 月から施行される。

※プラス WEB に参考資料を掲載しています。

【文部科学省人事異動】

文部科学省において、4 月 1 日付で以下のとおり人事異動がありました。（ ）内は前任者。敬称略。

○専修学校教育振興室第二係長 大塩 宏太（小江 謙太郎）／○専修学校教育振興室第二係（補助事業・経済的支援） 浴本 悠貴（中田 凌）

◆都道府県協会等代表者交代のお知らせ

<代表者交代>

一般社団法人岩手県専修学校各種学校連合会
龍澤 尚孝 氏

一般社団法人群馬県専修学校各種学校連合会

小倉 基宏 氏

一般社団法人新潟県専門学校協会

荒井 英之 氏

一般社団法人宮崎県専修学校各種学校連合会

井出脇 康智 氏

一般社団法人鹿児島県専修学校協会

神村 慎二 氏

◆新任ブロック長のお知らせ

○北関東信越ブロック

小倉 基宏 氏(群馬県・専門学校群馬自動車大学校)

訃 報

2月27日 齋藤 力夫 氏(元齋藤総合税理士法人
代表)4月12日 木庭 令一 氏(元一般社団法人熊本県
専修学校各種学校連合会会長)6月4日 龍澤 正美 氏(前一般社団法人岩手県
専修学校各種学校連合会会長)専修学校各種学校制度や職業教育の発展にご尽力
賜りました。ここに生前のご功績を偲び、心より哀悼
の意を表します。

春の叙勲・褒章の受章者

令和5年度春の叙勲・褒章が次の方々に贈られました。
また、多年にわたり、それぞれの分野において、
公共福祉のために献身的にご尽力された方(又は団体)
を表彰する群馬県総合表彰受賞者も発表されました。
努力と功績が認められた関係者のご芳名を掲載し、
心よりお祝い申し上げます。(敬称略)

* 旭日小綬章

坂本 正憲(宮城県:仙台赤門医療専門学校 理事長)

* 瑞宝小綬章

小松 信明(鹿児島県:鹿児島情報ビジネス公務員
専門学校 顧問)

* 瑞宝単光章

山口 貴子(岡山県:専門学校倉敷ファッション
カレッジ 副理事長)

* 黄綬褒章

藤本 祐二(熊本県:九州測量専門学校 副理事長)

* 藍綬褒章

布川 耕吉(北海道:北海道美容専門学校 理事長)

* 群馬県総合表彰

平塚 園枝(前橋文化服装専門学校 学校長)

鈴木 賢二(群馬社会福祉専門学校 学校長)

一般財団法人
職業教育・キャリア教育財団

T C E 財団だより

<https://www.sgec.or.jp>J 検 <https://jken.sgec.or.jp/>B 検 <https://bken.sgec.or.jp/>文部科学省後援 情報検定(J検)
出 願 状 況○前期情報活用試験(ペーパー方式・6月18日実施・団体
出願)

出願団体数・総出願者数 16団体・2,057名

1 級	772名
2 級	579名
3 級	706名

○令和4年度CBT試験(令和4年4月1日～令和5年3月31
日・団体および個人出願)

総出願者数 13,441名

情報活用試験

1 級	763名
2 級	2,537名
3 級	4,765名
合 計	8,065名

情報システム試験

基本スキル	2,048名
プログラミングスキル	1,393名
システムデザインスキル	1,433名

合 計	4,874 名
情報デザイン試験	
初 級	410 名
上 級	92 名
合 計	502 名

ビジネス能力検定（B検）ジョブパス 出 願 状 況

○前期試験（ペーパー方式・7月2日実施・団体出願）

出願団体数・総出願者数 68 団体・7,027 名

2 級 1,267 名

3 級 5,760 名

○令和4年度CBT試験（令和4年4月1日～令和5年3月31日・団体および個人出願）

総出願者数 10,104 名

1 級 90 名

2 級 2,006 名

3 級 8,008 名

TCE財団 理事会・評議委員会開催

東京都・アルカディア市ヶ谷を会場（オンライン形式併用）として、6月9日にTCE財団第146回理事会、6月27日に第97回評議委員会が開催された。

理事会は出席者16名、評議委員会は出席者10名。理事会では福田益和理事長が議長に就任し、議事録署名人は議長及び監事。評議委員会では清水裕評議員が議長、議事録署名人は田中由視評議員。

各議案の内容は以下の通り。全て異議なく原案どおり承認された。

【第1号議案 令和4年度事業報告】

配布資料に基づき、事務局が会議の開催、教員研修・研究、認定・表彰、検定、保険、出版・広報等、各事業の内容を説明。

【第2号議案 令和4年度決算報告ならびに監査報告】

配布資料に基づき、事務局の説明に続き岡部隆男財務担当常務理事が補足説明。理事会は荒川栄一監事が、評議員

会は坂本歩監事が監査報告を行った。

【第3号議案 令和5年度第1次補正予算】

理事会、評議委員会ともに配布資料により事務局が説明。

【第4号議案 評議委員会の招集について（理事会のみの審議事項）】

配布資料に基づき、事務局が第97回評議委員会の招集について説明した。

令和5年度 予定日程

<役員会・総会等>

●都道府県協会等代表者会議

令和5年11/24(金)・東京都・アルカディア市ヶ谷

●全専各連第138回・全専協理事会合同会議

令和6年2/22(木)・東京都・アルカディア市ヶ谷

<令和5年度ブロック会議>

●九州ブロック会議

令和5年7/20(木)・大分県・レンブラントホテル大分

●近畿ブロック会議

令和5年7/24(月)・兵庫県・シーサイドホテル舞子ビラ神戸

●中国ブロック会議

令和5年7/28(金)・山口県・湯田温泉「かめ福オンブレイス」

●四国ブロック会議

令和5年8/4(金)・香川県・リーガホテルゼスト高松

●北関東信越ブロック会議

令和5年8/23(水)・茨城県・レイクビュー水戸

●中部ブロック会議

令和5年8/24(木)・石川県・ホテル日航金沢

●北海道ブロック会議

令和5年9/11(月)・12(火)・北見市・ホテル黒部

●東北ブロック会議

令和5年9/26(火)・岩手県・ホテルメトロポリタン盛岡・本館

●南関東ブロック会議

令和5年10/27(金)・埼玉県・浦和ロイヤルパインズホテル

<研修会>

●中堅教職員研修会

◇令和5年7/25(火)・26(水)「学校の経営(SWO
T分析を中心として)」

◇令和5年8/9(水)・10(木)「新任指導力(メンタリ
ング)」

◇令和5年8/24(木)・25(金)「能動的学修(職業人
としての汎用的能力を養うアクティブ・ラーニングの
体験学習)」

◇令和5年9/1(金)「リスクマネジメント(クレーム
対応)」※オンライン形式

東京都・主婦会館プラザエフ

●キャリア・サポート養成講座

令和5年8/2(水)～4(金) 東京都・主婦会館プラザ
エフ

<検定試験>

●文部科学省後援・情報検定(J検)

◇令和5年度前期試験

【情報システム】令和5年9/10(日)

◇同 後期試験

【情報活用試験】令和5年12/17(日)

【情報システム】令和6年2/11(日)

◇C B T試験

【情報活用・情報システム・情報デザイン】通年実施

※情報デザインは、C B T方式のみで実施。

●文部科学省後援・ビジネス能力検定(B検)ジョブパス

◇令和5年度後期試験

【2級・3級】令和5年12/3(日)

◇C B T試験

【1級】令和5年9/9(土)～17(日)

令和6年2/3(土)～11(日)

【2級・3級】通年実施

<その他>

●第78回全国私立学校審議会連合会総会

令和5年10/24(火)・25(水)・福島県・ホテルハマツ

【広報全専各連 プラスWEB掲載記事】

詳細は、全専各連ホームページ【広報全専各連】

→ プラスWEBよりご覧いただけます。

https://www.zensenkaku.gr.jp/koho/koho_info.html

◆外国人留学生キャリア形成促進プログラム認定 ◆専修
学校設置基準の一部改正について ◆私立学校法改正関係
資料 ◆全国専修学校一般課程各種学校協会定例総会・研修
会 ◆全国高等専修学校協会定例総会 ◆職業実践専門課程
の認定について ◆J A S S O留学生在籍調査について ◆
全専各連、全専協常任理事会

会員校の皆様へ

入学辞退者への授業料返還

募集要項等に、3月31日までに入学辞退の意思表示
をした者に授業料等を返還することを明記してある
か、不適切な記載がないかも併せ、改めてご確認ください。
ご心配な点は都道府県所管課等とご相談ください。

本件に関わる通知等は全専各連ホームページにてご
覧いただけます。

専修学校の「いま」を知る あなたの「未来」がここにある
知 専修学校 #知る専

令和3(2021)年にスタートした
文部科学省がお届けするプロ
ジェクト「専修学校 #知る専」。
「専修学校 #知る専」は、特設の
ポータルサイトや Twitter、

YouTube、メルマガを結びつけて専門学校などの情報発
信を強化するものです。

専門学校や学生などから投稿される動画や旬な情報が
掲載される、専修学校と文部科学省とで作る「参加型」の新
しい形の広報プロジェクトです。

文部科学省HP (<https://shirusen.mext.go.jp/>)

Twitter、YouTube、Instagram から、今すぐ！検索！！





■情報検定(J検)は情報教育の柱となる「創る・使う・伝える」の三要素を網羅し、これからも学校教育を支援していきます。

<https://jken.sgec.or.jp/>

情報活用試験

ペーパー方式(団体出願のみ実施)

令和 5 年度後期

試験日 令和 5 年 12 月 17 日(日)

出願期間 手書願書——9 月 1 日～11 月 7 日(願書必着日)

電子願書——9 月 1 日～11 月 14 日(願書必着日)

実施級/受験料 1 級——4,500 円

2 級——4,000 円

3 級——3,000 円

情報デザイン試験

CBT 方式のみ

詳細は J 検 HP を参照下さい。

実施級/受験料 初級——4,000 円

上級——4,500 円

情報システム試験

ペーパー方式(団体出願のみ実施)

令和 5 年度後期

システムエンジニア認定

プログラマ認定

試験日 令和 6 年 2 月 11 日(日)

出願期間 手書願書——11 月 1 日～12 月 15 日(願書必着日)

電子願書——11 月 1 日～令和 6 年 1 月 9 日(願書必着日)

実施級/受験料 基本スキル——3,500 円

システムデザインスキル——3,000 円

プログラミングスキル——3,000 円

情報検定全科目で CBT 方式がご利用いただけます！

* パソコン画面で受験できる試験方式です。

従来のペーパー方式に加え、CBT (Computer Based Testing) 方式でも実施いたします。

* 個人受験をご希望の方は CBT 方式をご利用ください。

◇各試験で随時受付中です。

◇受験料はペーパー方式と同一料金です。

◇自由に試験日が設定でき、合格結果もその場で分かります。

J 検 CBT 無料体験版でお試しいただけます。(ホームページよりご利用ください。)

◇「併願受験」をサポートするプランも実施中です。

不合格、または欠席となった科目は 1 年間合格するまで何度でも受験できます。

(団体のみ対象。詳細は web にてご確認ください。)



文部科学省後援

ビジネス能力検定ジョブパス

(<https://bken.sgec.or.jp/>)

従来のペーパー方式(全国一斉)に加え、2 級 3 級では CBT 方式を導入。
試験日時を自由に設定でき、分散した実施が可能です。(1 級は CBT 方式のみ)
(検定試験の最新情報は、B 検ホームページをご確認ください)

1 級(令和 5 年度前期)

■試験期間/令和 5 年 9 月 9 日(土)～

9 月 17 日(日)

(上記期間内から選択可。ただし会場設営状況による。詳細はホームページをご覧ください)

■出願期間/団体受験: 7 月 3 日～

試験日の 2 週間前まで

/個人受験: 7 月 3 日～

試験日の 3 週間前まで

■実施級・受験料/1 級(8,500 円)

(2 級合格者が所定の期間に受験する場合 5,500 円※但し、1 回のみ)

【想定受験者と評価内容】

●就職活動を展開中の大学生・専門学校生等から入社 1 年目から 3 年目程度の社会人。●2 級の知識、技法を前提とし、問題解決を円滑に推進するために必要となる論理的な思考、情報発信と表現技法、および基礎的なマネジメント技法を実践的に評価する。

2 級・3 級(令和 5 年度後期)[ペーパー方式]

■試験日/令和 5 年 12 月 3 日(日)

■出願期間/9 月 1 日～10 月 20 日

■実施級・受験料/2 級(4,200 円)

3 級(3,000 円)

【想定受験者と評価内容】

2 級●就職活動のスタートを間近に捉えた大学生、専門学校生等から社会人 1、2 年目程度。●3 級の知識を前提とし、企業の役割や責任と権限などを理解するとともに、効率的な業務の進め方、問題解決のための基本的なコミュニケーション、情報活用の技法を評価する。

3 級●就職活動を視野に捉えた、高校 3 年生、大学生・専門学校生等●入学者自らの職業観や勤労観といった概念の形成を前提にビジネス常識および、基礎的なコミュニケーション、情報の利活用など、将来、職業人として適応するために身につけておくべき知識を評価する。

文部科学省認可 学生・生徒24時間共済

組合認可番号：27 愛文科総第1713号
共済認可番号：27 愛文科総第1714号
共済認可番号：28 愛文科総第1718号

～卒業までの安心を全ての学生・生徒に提供したい～

学生・生徒24時間共済の特長

- ◇補償は毎年4月1日開始！
掛け金の振込は4月15日まで！
- ◇暫定人数での契約が可能！
概算契約・確定精算方式を採用！
- ◇名簿の提出不要！
契約時の手続きを大幅に簡略化！
- ◇低いコストで手厚い補償を提供！
共済制度は低コストでの運営が可能である為
民間の保険会社より安い掛金で 手厚い補償を提供
1名あたり年間平均共済掛金：6,500円(100～499名)
- ◇剰余金の割戻
共済事業から発生する剰余金がある場合
組合員である学校に「剰余金の一部」を還元
することが可能

右記の基本プランの他、医療福祉分野プラン
など複数プランがございます。

学生・生徒が病院等の臨床実習先で感染症に
罹災したことによる治療費、検査・予防費を
補償します。

学生・生徒24時間共済補償【基本】



キャリア教育共済協同組合
Mutual Aid Cooperatives Career Education

お問い合わせ先

フリーダイヤル ☎ 0120-014-888

本部事務局 〒102-0073 東京都千代田区九段北4丁目2-25 （全国専修学校各種学校総連合会／一般財団法人職業教育・キャリア教育財団事務所内）
大阪事務局 〒542-0012 大阪府大阪市中央区谷町9丁目1-22

専修学校・各種学校の保険ご担当者様

私学法改正に対応

学生・生徒

授業や実習、インターンシップ等におけるケガや
他人に対する賠償責任を補償します。

学校・教職員

学校に対する訴訟やサイバー攻撃など、
多様化するリスクに備えられます。

理事・監事

第三者や学校法人からの、
役員個人に対する訴訟に備えられます。



学校のリスクを補償
変化の激しい時代だからこそ
“もしも”に備え安定的な学校運営を！



一般財団法人職業教育・キャリア教育財団がつくった、専修学校・各種学校のための保険です。

加入校は約1,600校 / 加入者は約21万人

《取扱代理店》株式会社 第一成和事務所 東京都中央区日本橋久松町11番6号 日本橋TSビル8F

お問合せ先

TEL : 03-3669-2831

HP : <https://www.d-seiwa.co.jp/>

《引受保険会社（幹事）》

東京海上日動

三井住友海上

損害保険ジャパン

このチラシは一般財団法人職業教育・キャリア教育財団の保険制度の概要についてご紹介したものです。保険の内容はパンフレットをご覧ください。詳細は契約者である団体の代表者の方にお渡ししてあります保険約款により、ご不明な点がございましたら代理店までお問合せください。

2023年2月作成 22TC-101296